

ラインスタイルのライブラリ

ご存知でしたか?... TNTのサンプルデータの中にラインスタイルのライブラリが入っています。

ラインスタイルのライブラリを使うことによって...

- 要素の種類に合った表示スタイルを見つけることが出来ます。
- 表示や印刷用レイアウトで使う凡例を簡単に作成できます。
- あらかじめ用意されたスタイルを使ってプロのような表示結果が得られます。
- 既存のスタイルを修正して、ユーザ独自のカスタムスタイルライブラリを作成できます。



この図は、TIGER データのラインスタイルライブラリです。ラインの属性やクエリを使用して割り当てできます。

Type	Color	Start	Interval	Size	Offset	Thickness
Dashed Lin	Red	0.00	6.00	3.00	0.00	1.00
Solid Line	Black				-0.48	0.00
Solid Line	Black				0.50	0.00
Solid Line	Black				0.00	1.00

ラインパターンエディタでは、新規にラインスタイルを作ったり、既存にあるライブラリ中のラインスタイルを修正できます。

ラインスタイル・ライブラリを利用する方法

- 例えば、道路の属性を持つライン要素を含むベクタオブジェクトを表示します。
- <ベクタレイヤコントロール> ウィンドウを開きます。
- [ライン (Line)] タブで [スタイル (Style)] を [新規-属性による (By Attribute)] にして、[指定 (Specify)] (V2012 では [編集 (Edit)]) ボタンをクリックします。
- <属性によるスタイルの割り当て (Assign Styles by Attribute)> ウィンドウで、スタイルオブジェクトフィールドの [スタイル] ボタンをクリックします。
- <使用するスタイルオブジェクトを選択してください (Select Object)> ダイアログで、litedata/berea/tigstyle.rvc と指定していき、TIGER スタイルオブジェクトを選択します。
- <属性によるスタイルの割り当て> ウィンドウで、属性値に対してスタイルを割り当てます。

さらに知りたいことがあれば...

下の入門書をご覧ください：

スタイルの作成と使用
(Creating and Using Styles)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp

